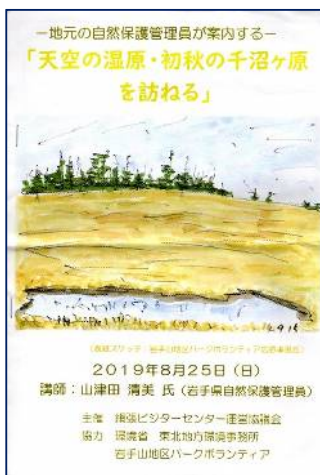




ミツガシワの池塘を眺めながら進む (奥千沼ヶ原)



VC 製作配布の資料

〔メモ〕

【日時】 令和元年8月25日 7:00~16:00
 【参加者総数】 40名
 講師 1名
 一般参加者 26名
 VC職員 2名
 パークボランティア 11名

【概況】

- ・ 平ヶ倉沼から尾根への急登区間で年配男性1名が遅れ気味だったので、PV1名が付き添い、サポートした。
- ・ 下山開始直後に雨に見舞われたが、幸い短時間で、全員無事に下山した。
- ・ 参加者には小学5、6年生の兄弟をはじめ、千沼ヶ原に初めて登る方々もおられたが、「疲れたけれど、楽しかった」との感想をいただいた。
- ・ 登山道は湿原入口までの全区間にわたり刈払いなどがしっかりなされていた。

※ 講師の山津田氏が自然保護管理員として登山道の維持管理に尽力いただいていることに敬意を表したい。

【出動PV】 11名 (敬称略)

家子、齋藤、広野、浪岡、佐々木 (和)、佐々木 (満)、佐藤、佐々木 (貴)、吉田、佐々木 (義)、阿部



千沼ヶ原にて、1班



講師の山津田氏



千沼ヶ原分岐付近からの眺め



ミヤマコメグサ



エゾオヤマリンドウ



千沼ヶ原分岐 (笹森山、乳頭山方面) にて 2班

【開会セレモニー】



準備体操 (指導: 広野PV)

【登山開始】



最初からキツイ急坂



平ヶ倉沼畔を行く



尾根への急坂を登る



稜線部 左側は地滑り跡の急崖



転落せぬよう、慎重に



湿原入口 (奥千沼ヶ原)



池塘にはミツガシワが見える



千沼ヶ原分岐に到着



千沼ヶ原湿原風景を眺めながら、昼食休憩



下山開始



下山開始直後に雨が降り出す



大粒の雨で池塘の水面が撥ねる



雨に濡れた急坂を下る
ドロコ道となり難儀



閉会セレモニー
参加者ひとり一人から感想を伺う

【パークボランティアの活躍】



携帯トイレテントの設営



内部には便座を設置



携帯トイレテントの撤収



千沼ヶ原分岐の案内板 支柱が腐朽して板が落ちていたので、立て掛けた